

学校再編ニュース

《第6号》(平成24年8月23日発行)



《発行》小樽市教育委員会(適正配置担当)

電話 0134-32-4111(内線 533)

FAX 0134-33-6608

Eメール gakko-tekisei@city.otaru.lg.jp

市民の皆さんの理解と協力により学校再編を進めていきます

学校再編の状況についてお知らせします (平成24年5月14日以降)

今回は、この4月に量徳小と統合した花園小の『新しい学校づくり』の取組について紹介するとともに、5月14日以降に開催した「塩谷・長橋地区」「高島・手宮地区」「中央・山手地区」の学校再編についての懇談会の状況や、若竹小の平成25年4月の統合に向けた二つの統合協議会での協議内容などについてお知らせします。



手宮3小学校の統合は平成28年4月

7月5日に手宮小で手宮3校(北手宮小・手宮西小・手宮小)合同懇談会を開催し、この地区の小学校の統合時期などについて、合意を頂きました(詳しくは、3ページを御覧ください)。

この学校再編ニュースは、市のホームページに掲載しています。

小樽市 学校再編

検索

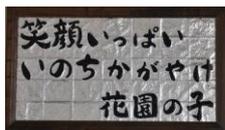
ホームページを
リニューアルしました!

新しくなった花園小!

この4月に、量徳小と統合した花園小について紹介します。

地域参画の新しい学校づくりを

今回の学校統合で、保護者や地域の方の思いや願いを生かした新しい学校づくりに取り組んできた花園小。新しい教育目標も、学校に対する皆さんの思いを基に設定されました。また、保護者の皆さんが通学路の安全点検を行い、地域の皆さんに広くなった校区の通学見守り活動をしていただいています。



活気あふれる新しい花園小

これまでは各学年1学級でしたが、量徳小との統合で4月から全て2学級となり、みんなにとって初めてのクラス替えを経験しました。今年の運動会は、クラス対抗で競うことができ、また、たくさんの保護者にも来ていただいて、とても盛り上がりましたね。

仲間が増えたことで、学習面でお互い刺激し合ったり、遊びでも新しい友達ができたりしています。

また、先生方としても、複数学級により教材研究や生活指導など互いに協力し合いながら取り組めるようになりました。



花園小 寺澤校長

統合後の子供たちは…

花園小では、5月に学校生活の状況を把握するため、保護者と児童のアンケート調査を行いました。児童からは、「新しい友達に遊びに誘われた」「声を掛けてくれた」など友達からされてうれしかったとの回答が多く、学校統合に関係して“困ったこと”や“いやだなと思ったこと”は見られませんでした。保護者からは、統合に関わった2年生以上の回答(回答率82%)のうち、約7割が「新しい友達ができ」「学校がより楽しくなった」「学習が意欲的になった」など“良い変化があった”と回答し、一方、約3割が「体調不良を訴える」「登校をしづらくなった」など“気になること”と回答していました。こうした不安に対応するため、教育委員会ではスクールカウンセラーを派遣し、保護者や児童の相談に応じてきました。(アンケート調査の詳細は、市のホームページをご覧ください)

塩谷・長橋地区

塩谷・長橋地区では、中学校の再編を先行することとし、塩谷中の統合時期について話し合っています

懇談会の開催状況

平成24年7月23日 塩谷小・塩谷中合同（保護者・地域）

■ 教育委員会からの提案・説明内容 ■

- 前回(1月17日)の懇談会で、統合校の位置は長橋中とし、塩谷中との統合時期を平成26年4月と提案しましたが、中学校の入学説明会を間近に控え、小学校6年生の保護者にとって進学を考える期間が短いことから、平成26年4月の統合は見送りました。今回、改めて平成27年4月の統合時期を提案しました。
- 塩谷小も、学校の小規模化が進むことから再編は行うが、中学校の再編後、一定期間を置く考えを説明しました。

◆ 参加された方からの意見など ◆

【保護者から】

- ◆ 学校再編には賛成である。小規模な塩谷中では学校行事などの運営が大変であり、統合時期をはっきり決めて早く進めてほしいとの要望がありました。
- ◆ この地区の学校再編は、小学校と中学校は連動しないと思う。中学校の再編は必要だが、塩谷の特性があり、地域の意見も聞いてほしい、また、5、6年生の保護者の意見を把握した上で進めてほしいとの要望がありました。
- ◆ 保護者としては、統合を決めて先に進みたいと考えているが、地域は反対しており、教育委員会は、地域がなぜ反対しているかまとめた上で、保護者に伝えてほしいとの要望がありました。
- ◆ 6年生の親としては、3年間通えるのであれば塩谷中に通学させたいので、平成28年4月の統合を希望するが、平成27年4月となれば2学期・3学期の中で児童交流を行うことはできないかとの質問がありました。教育委員会から、小学校の再編にかかわらず、今後の小学校の交流は必要であると考え、今の5、6年生の交流を行うことは時間的に難しいと考える旨説明しました。



【地域から】

- ◆ 指定校変更の制度が、中学校の進学に混乱を与えているのではないかととの質問があり、教育委員会から、国の通知に基づき要綱を定めていること、そして、保護者と子供が相談した上で教育委員会に申請があり、要綱に基づき適切に取り扱っている旨説明しました。
- ◆ 地域と保護者の話を一つにしなればいつまでもまとまらない、昭和48年の文部省通達では地域住民の理解とあり、教育委員会としてどう考えるかとの質問があり、保護者は統合が避けられないという気持ちの中で、地域の方の思いは否定しないが、子供のことを考え、保護者の思いを理解いただきたい旨説明しました。

高島・手宮地区

平成24年5月10日に開かれた教育委員会議において、「高島・手宮地区小学校Aグループ統合実施計画」を策定し、平成25年4月に祝津小と高島小を統合することを決定しました。

高島・手宮地区では、手宮地区3小学校の再編と中学校の統合時期について話し合っています

○手宮地区3小学校と高島・手宮地区の中学校の統合時期について、二つの懇談会で話し合いました

懇談会の開催状況

平成24年7月5日 北手宮小・手宮西小・手宮小合同（保護者・地域）

■ 教育委員会からの提案・説明内容 ■

- 手宮地区3小学校は、平成28年4月に3校を統合すること、統合校は現在の手宮小の位置で校舎を建て替えることとした新校の建設予定スケジュールを説明しました。校区は、現在の北手宮小・手宮西小・手宮小の校区に、色内小の校区のうち、稲穂5丁目と色内3丁目を加える考えを提案しました。
- 中学校は、平成29年4月に北山中と末広中を統合し、統合校の位置は現在の手宮西小とし、平成28年度に中学校に改修する旨説明しました。

◆ 参加された方からの意見など ◆

【保護者から】

- ◆ 統合校の校舎建替え時の運動会について質問があり、教育委員会から、近隣の学校等の施設を借りて対応することが考えられるが、できるだけ子供の負担とならないよう進めたい旨説明しました。
- ◆ 統合手宮小・長橋小・稲穂小の3校に分かれる色内小の統合時期について質問があり、教育委員会から、手宮3小学校の統合に合わせて、平成28年4月に統合する考えである旨説明しました。
- ◆ 色内小の統合が決まると、指定校変更により統合校へ先行入学し、色内小の小規模化が進むと考えられるのではとの質問がありました。教育委員会から、適正化基本計画では、新入学児童が、申請により先行して統合校へ入学することを認めているが、在校生は、統合校と事前交流などを行い、みんなそろって統合を迎える旨説明しました。
- ◆ 統合中学校の校区について、色内小から統合手宮小に行く子供たちは、小学校卒業後、西陵中ではなく、みんなと同じ中学校に行けるよう配慮してほしいとの意見があり、教育委員会から、中央・山手地区は小学校の再編を先行しており、中学校の再編議論はこれからとなるが、子供のことを一番に考え対応したい旨説明しました。

【地域から】

- ◆ 小樽市では、中高一貫校を設立する考えはないかとの質問があり、中高一貫校をつくることは考えていないが、中学校・高校の連携、情報交換、交流などは、教育力向上の観点から必要であると考えている旨説明しました。

懇談会の開催状況

平成24年7月9日 祝津小・高島小・北山中・末広中合同（保護者・地域）

■ 教育委員会からの提案・説明内容 ■

- 隣接の手宮地区3小学校は、平成28年4月に3校を統合すること、統合校は現在の手宮小の位置で校舎を建て替えることとし、新校の建設予定スケジュールを説明しました。
- 中学校は、平成29年4月に北山中と末広中を統合し、統合校の位置は現在の手宮西小とし、平成28年度に中学校に改修する旨説明しました。
- 祝津小と高島小は、高島小を統合校として平成25年4月に統合する準備を進めている旨説明しました。

◆ 参加された方からの意見など ◆

【保護者から】

- ◆ 中学校の通学で路線バスを利用する場合、混雑して乗れない心配があるが、スクールバスを導入する考えはないかとの質問があり、教育委員会から、路線バスのスクール便の対応が可能かバス事業者と話し合っている旨説明しました。
- ◆ 中学生の通学支援の対象となる3kmラインについて、以前の懇談会では柔軟に考えるといっていたが考慮されたのかとの質問があり、教育委員会から、お示した3kmラインは最短ルートではなく、安全な通学経路を基に計測した旨説明しました。



- ◆ 徒歩で通学する場合、中野植物園付近を通学路として歩けるよう街路灯の増設や冬の除雪について質問がありました。教育委員会から、中野植物園付近については、現在も北手宮小の通学路となっており、街路灯は、道路管理者や町会に確認していくこと、除雪は、引き続き担当部署に依頼していく旨説明しました。
- ◆ 3年生の時に統合を迎えるが、高校受験を控え、新しい学校・クラス・先生となり不安であるとの意見があり、教育委員会から、学級編制は保護者や生徒にとっても大きな問題であり、統合に向けた話し合いの中で、保護者の声を十分反映していきたいと考えている旨説明しました。
- ◆ この地区の統合校は、これまでは案であると聞いていたが、学校再編ニュース(第5号)を見てると、いつの間に決まったのかと思ったとの意見があり、学校再編ニュースは、教育委員会の考え方を示したもので、このブロックで具体的な統合時期を明示したのは初めてである旨説明しました。



二つの懇談会で、高島・手宮地区の学校再編に係る教育委員会の提案(小学校・中学校の統合)については、御理解をいただきました。なお、懇談会に出席されていない保護者にも、教育委員会からその旨文書でお知らせしたところです。今後、保護者や地域の皆さんと統合に向けた準備を進めていきます。

中央・山手地区

中央・山手地区では、小学校の再編を先行することとし、色内小においては統合時期について話し合いをしています

懇談会の開催状況

平成24年7月11日 色内小(保護者・地域)

■ 教育委員会からの提案・説明内容 ■

- 色内小は、校区を三つに分割して稲穂小・統合手宮小(高島・手宮地区)・長橋小(塩谷・長橋地区)とそれぞれ統合し、統合時期を、手宮地区3小学校の統合に合わせて平成28年4月とすることを提案しました。

◆ 参加された方からの意見など ◆

【保護者から】

- ◆ 稲穂5丁目の国道付近は稲穂小の方が近いと思うが、校区の分割の考え方について教えてほしいとの質問があり、教育委員会から、国道は交通安全施設が整備されているが、交通量が多いため、国道を渡ることとなる校区分けは避けたいと考えている旨説明しました。
- ◆ 統合手宮小への最遠距離は約2.2kmだが、小学生の通学距離として遠くないのかとの質問があり、教育委員会から、通学距離として問題はないが、最も遠い地域(稲穂5丁目27付近)は一つの団地を形成しており、ここを長橋小の校区とした場合には、通学距離は約1.8kmとなり通学距離の平準化が図られることから、保護者の意見を聞きながら校区分けを考えていきたい旨説明しました。
- ◆ 7月5日の手宮小懇談会で話があったが、統合手宮小に通うこととなる色内小の子供たちが中学校に入学する際の校区について質問があり、教育委員会から、原則として、一つの小学校から複数の中学校に行くことは避けたいと考えている。この地区の中学校再編の過程で、原則と異なることもあり得るが、現状では、保護者の考えに沿った方向となるよう考えている旨説明しました。
- ◆ 学校施設は、災害時の避難所に指定されているが統合後はどうなるのかとの質問があり、教育委員会から、現在、市の防災担当で地域の避難所について再検討している旨説明しました。
- ◆ 色内小の統合については、保護者や地域の不安を取り除き理解を得るために、改善できるものな



ど具体的に示していく必要があるのではないかとこの意見があり、教育委員会としては、懇談を重ねる中で意見の大勢を把握し、理解を得ていきたいと考えており、不安を解消できるよう努力していきたい旨説明しました。

懇談会の開催状況 平成24年7月17日 西陵中（保護者・地域）

西陵中の保護者の中で、同校が早期に再編となるような不安の声が聞かれるとPTAから教育委員会に話があったことから、中央・山手地区の学校再編について懇談会を開催しました。なお、懇談会はPTAからの要望によりグループに分かれて質問等を集約してから、話し合いを行いました。

■ 教育委員会からの説明内容 ■

- この地区は小学校6校を3校に、中学校3校を2校に再編するが、小学校と中学校の校区が輻輳（ふくそう）していることから、まず、小学校の校区を整理し、一定の期間を置き中学校の再編を検討すること。老朽化が進む松ヶ枝中については、安全対策が必要であり、緑小・最上小の統合後の平成31年4月に最上小の場所に移転する予定としている旨説明しました。
- 現在、隣接する地区を含めた中学校再編のシミュレーションをしており、小学校再編の進捗状況にもよるが、中学校は前期計画期間終了前の平成29年度ころには議論したいと考えている旨説明しました。

◆ 参加された方からの意見など ◆

【グループから】

- ◆ 松ヶ枝中を最上小跡に移す前に中学校の再編を考えられないかとの質問があり、教育委員会から、始めの説明のとおり、この地区は小学校と中学校の校区が輻輳（ふくそう）しており、まずは小学校の再編を先行させ、中学校の再編は一定の期間を置くこととするが、松ヶ枝中については、老朽化対応として移転する考えである旨説明しました。
- ◆ 旧車両整備工場跡に緑小・最上小の統合校の建設について、懇談会で一人の方から出された意見と聞かされたのかとの質問があり、教育委員会から、平成22年の最上小の懇談会で意見をもらったが、市所有地の活用と校区内の通学距離の平準化が図られるという観点から、旧車両整備工場跡に建設する方針を決めて進めている旨説明しました。



【保護者から】

- ◆ 松ヶ枝中の校舎は50年以上経過しており、7年後の移転で大丈夫なのかとの質問があり、教育委員会から、保護者の不安を払拭できるよう手立てを考えていきたい旨説明しました。
- ◆ 教育委員会として、新しい学校づくりをするということを前面に出し、みんなに良いと思われ、協力してもらえるようなプランの説明をしてほしいとの意見がありました。

【地域から】

- ◆ 学校再編で西陵中が後回しにされているように感じるが、話し合う順番が違うのではないかとこの質問があり、教育委員会から、この地区は小学校の再編を先行して進めており、西陵中の関係者をないがしろにしているわけではない旨説明しました。
- ◆ 自校給食がある学校が適正配置の対象となっているのではないかと、また、全校の給食を共同調理場で扱うのは危険性が大きいとの質問があり、教育委員会から、自校給食がある学校が学校再編の対象となっているわけではないこと、また、新築を進めている共同調理場は、現在の学校給食衛生管理基準を満たした施設として、子供に安全な給食を届けるよう万全を期したい旨説明しました。
- ◆ 最上小にお金をかけて松ヶ枝中が移転することとなれば、西陵中は閉校しか考えられなく、このことを西陵中保護者は全く知らされていないとの意見があり、教育委員会から、再編の議論から西陵中保護者は排除してはいない、また、松ヶ枝中は老朽化の対応として平成31年ごろに最上小跡に移転することを考えているが、その段階では中学校3校は存続している旨説明しました。

若竹小の平成25年4月の統合に向けた準備が進んでいます

通学路の安全確保対策と学校設置条例の改正に係る説明会 ～ 市総務部・生活環境部、教育委員会合同

平成24年5月14日 若竹小（保護者・地域）

平成23年10月24日に、若竹小PTA・若竹町会・若竹保育所などの連名で市長宛てに提出された「学校再編に伴う通学路の安全整備に関する要望」に対する取組状況について市総務部企画政策室から、また、6月の市議会第2回定例会で学校設置条例の改正を行いたい旨教育委員会から説明しました。

◇ 出された要望8項目への説明に対して、スクールバス運行による対象者やコース、交通量が多い高速道路高架下の横断に対する施設整備、冬期間の通学路の安全確保などについて意見がありました。担当からは、通学路の安全確保に向けて引き続き警察と協議を行うなど、関係部署と連携を図りながら、皆さんの要望に応えられるよう検討していきたい旨説明しました。

◆潮見台小学校・若竹小学校統合協議会◆

第9回 平成24年5月17日・第10回 7月24日

◇統合協議会の名称を変更◇（第9回）

4月に量徳小が統合したため、統合協議会の名称及び設置要綱が変更されました。

◇校名等の見直しについて◇（第9・10回）

平成24年4月以降に話し合うこととなっていた校名等については、「校名等に関する部会」で検討することとなり、検討後の第10回統合協議会で見直しは行わないことが決定されました。



第10回統合協議会の様子

◇通学路の安全確保について◇（第10回）

来年4月の統合時の通学路の見守り活動を組織的に行うため、保護者や町会などで構成する「通学安全確保に係る検討会議」を設けることになりました。

★スクールゾーンは進入禁止です!★

登下校時の児童の安全を確保するスクールゾーンの通行は、許可車両以外は禁止されています。車両規制の時間帯に通行しないようご協力をお願いします。

- ・7時30分～8時30分 … 高島小
- ・8時30分～15時 … 桜小
- ・8時～9時 … 長橋小・稲穂小・朝里小
- ・8時～9時・正午～15時 … 手宮小・花園小・緑小・入船小・潮見台小
- ・8時～9時・13時～15時 … 色内小

※次回の学校再編ニュースで、スクールゾーンの通行規制場所を詳しくお伝えします。

◆若竹小学校・桜小学校統合協議会◆

第3回 平成24年5月18日



◇校名等の見直しについて◇

校名等については、協議の結果、見直しを行わないことが決定され、新しい教育目標などは教職員部会で検討することになりました。

◇通学路の安全確保について◇

来年4月の統合時の通学路の見守り体制の構築に向けて、保護者部会を中心に協議し、さらに町会の協力を得て進めていくこととなりました。

☆ 統合協議会ニュースは市のホームページに掲載しています ☆

▲事前交流事業▼

5月11日、潮見台小・若竹小・桜小の3校合同の遠足を実施しました。1・2年生は平磯公園、3・4年生は望洋東公園、5・6年生は色内埠頭公園で、それぞれ学年ごとに分かれてゲームをするなど楽しい時間を過ごしました。

↓ ボールリレー（3・4年生）



↑ 鬼ごっこ（1・2年生）



← ハンカチ落とし（5年生）

この後の状況は「学校再編ニュース(第7号)」でお知らせします